

予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

平成27年 6月24日 開会 10時50分 閉会 11時10分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

藤原清和	大滝文則	西村慎次郎	河合謙治
荒木謙二	柳井一徳	惣台己吉	三宅文雄
坊野公治	藤原浩司	簗戸利昭	西田久志
三輪順治	大鳴二郎	宮地俊則	佐藤豊
井口勇	森下金三	森本典夫	

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 上野安是

(2) 説明員

副市長	三宅生一	総務部長	長野隆
市民生活部長	北村宗則	健康福祉部長	佐藤文則
建設経済部長	三宅道雄	総務部次長	大舌勲
市民生活部次長	橋本良啓	建設経済部次長	谷昌彦
水道部次長	妹尾福登	総務部参与	渡邊聡司
市民生活部参与	谷本悦久	地域創生参与	妹尾光朗
建設経済部参与	武田吉弘	企画課長	山下浩道
地域創生課参事	和田広志	上水道課長	藤井護
総務課長補佐	藤原雅彦	財政課財政係長	伊藤圭史
教育長	片山正樹	教育次長	山田正人
学校教育課長	川上吉弘	生涯学習課長	唐木英規

(3) 事務局職員

事務局長 川田純士 事務局次長 岡田光雄

6. 傍聴者

(1) 一般 1名

(2) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（藤原清和君） それでは、皆さんおはようございます。

本会議に引き続きご苦労さまでございます。

ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いいたします。

副市長（三宅生一君） 皆さんに、改めましておはようございます。

本当に梅雨の中休みといたしますか、少しきょうはしのぎやすいかなというふうにも思っているところであります。

そうした中、きょうの新聞紙上といたしますか、昨日は6・23は沖縄戦からの70年ということで、当地糸満市の摩文仁平和祈念公園で慰霊祭があったわけですが、本当に改めて戦争の悲惨さあるいは恒久平和を願う、そういったことを決意といたしますか、気持ちを新たにしたところでもあります。

また、一方で目を地元を起こしますと、青野の葡萄浪漫館においては、井原市の特産でありますブドウが売られているということで、これから5カ月にわたってこういった井原市の名産が世に売れていくのかなというふうにも思っているところであります。

そうした中、本日は予算決算委員会を開催いただきまして、皆様方には何かとご多用の中お練り合わせいただきました。本当にありがとうございます。

この委員会に付託されております事案であります、一般会計補正予算（第1号）でありまして、皆様方には慎重に審議をいただきながら、適切なお決定を賜りたいというふうにも思っております。

本日はどうぞよろしく申し上げます。

〈議長あいさつ〉

〈議案第44号 平成27年度井原市一般会計補正予算（第1号）〉

〈歳入全般〉

〈なし〉

〈歳出第15款 総務費〉

委員（佐藤 豊君） 宙ガールのことでの予算が、星の三選宙ガールの件ですけれども、

180万円という予算組まれて、具体的に、説明1回は聞いたんですけど、もう少し内容的にはどのような取り組みをされるのか、お聞かせ願いたいと思います。

地域創生参与（妹尾光朗君） 宙ガールでございます。宙ガールにつきましては、日本三選星名所に認定された美しい星空を活用したイベントを開催しまして、全国から星好きな女性、いわゆる星ガールに来ていただき、本市の魅力在全国に情報発信するとともに、交流による地域の活性化を図るものでございます。

開催日につきましては、11月14日土曜日を予定いたしております。場所につきましては、美星天文台、中世夢が原、ここを会場にする予定でございます。

以上です。

委員（佐藤 豊君） 具体的にこういった内容というのは今のところはどのようにお考えでしょうか。まだこれからのことになるのでしょうか、お聞かせ願いたいと思います。

地域創生参与（妹尾光朗君） 内容につきましては、これから詰めていくということになりますので、ご理解をお願いします。

委員（佐藤 豊君） 了解しました。終わり。

〈なし〉

〈第25款 衛生費〉

〈なし〉

〈第35款 農林水産業費〉

〈なし〉

〈第40款 商工費〉

〈なし〉

〈第50款 消防費〉

委員（三輪順治君） 1点ご質問いたします。

本会議の説明によりますと、芳井支所の当時議会棟の改修ということであります。議会棟

というのは何階にありましたでしょうか。

市民生活部参与（谷本悦久君） 議会棟は2階でございます。

委員（三輪順治君） 通常、非常備であれ常備であれ、初期対応、初動態勢が非常に重要な要素であります、消防は。2階ということになれば、芳井分駐所の全ての本体が2階に上がってしまうのでしょうか。それとも1階も併用しながら活用するような、そういう設計になるのでしょうか。その1点確認したいと思います。

市民生活部長（北村宗則君） 先ほど2階という回答をさせていただいたんですが、議場が2階にあるということでありまして、棟としては1階、2階を通してでございます。

委員（三輪順治君） それでいいです。オーケーです。

〈なし〉

〈第55款 教育費〉

委員（佐藤 豊君） 小学校、中学校に理科、算数と、理科と数学ということでの取り組みをという、具体的にはどういったものがなされるのか。ですから、教材の中での子供たちに見てもらう、どういった内容のものになるのでしょうか。ただ教材というのは具体的にはどういことをいうのでしょうか、教材、授業、今回の取り組み。

教育次長（山田正人君） 教材、例えばですが、理科の授業で購入する備品であります、化石の標本とか、胎児ソフトモデルセットとかヒトの発生と発育の模型とか、算数で言えばお金、硬貨セットとか、こういう備品を購入するものであります。

委員（佐藤 豊君） わかりました。終わります。

〈なし〉

〈歳入歳出全般についての質疑〉

委員（三輪順治君） 歳入歳出全般でございまして、私1点お聞きしたいのが、公共施設整備基金に今回1億5,000万円補正の措置がされております。積立金については用途があると思います。条例も拝見しましたが、公共施設整備という意味合いを条例ではこの名前しか書いてないので、目的のところ、目的補助金はその目的以外には使えませんですけども、あえて公共施設整備というのは何を定義しとるのでしょうか。

総務部参与（渡邊聡司君） 先ほどおっしゃられましたように、公共施設整備基金の条例

につきましては公共施設の整備に充てるという目的が定められております。実際的にどういった事業に充当するかということでございますけど、これまでの例で見ますと圧倒的に箱物、そういったものを公共施設というふうに定義しておりますけど、しかしながら公共施設といいますのは箱物に限っておりません。さまざまなインフラ、そういったものも公共施設というふうに定義づけられておりますので、これから財源確保が非常に厳しくなっていく中でそういった充当可能な事業を見つけながら充当していきたいというふうに考えております。

委員（三輪順治君） 対象は施設、インフラを含めて施設全般ということでございますが、整備という意味、公共施設の整備というのは新たにつくるのが整備なのか、あるいは維持補修を含めてやるのか、あるいは整理統合やあるいはその他の手法、そういうのを含めて管理手法を含めて整備の基金の対象になるのか、これもあわせて定義的なこととなりますけれども、お教えをお願いしたいと思います。

総務部参与（渡邊聡司君） 基本的には新しくつくっていくというのが基本的な考えでございますけど、これからの時代、公共施設をつくるばかりが役目ではございません。施設の統廃合であったりあるいは長寿命化に向けた改築、そういったものにも当然ながら充当していく必要がございますし、また今年度、来年度2年間で公共施設の総合管理計画を定めることにしております。そういった中では将来的には施設の解体といいますか、そういった施設の方向性が出てくるものもあろうかと思っております。

現在のところ国のほうではそういったところに対して起債、地方債の発行は認めておりますけど、しかしながら交付税措置はありませんよと。一時的な資金の場として起債を貸しましょうということもございますけど、これから先、財源が厳しくなる中、そういった事業にも充当を検討していく必要があるかというふうに考えております。

委員（三輪順治君） かなり幅広い分野で活用されるというふうなことでございますが、井原市における公共施設の整備方針なり考え方なり、今カルテをおつくりになっている途上でありますから、まだないとは思いますが、もしあるのであれば今後何年間あるいは地方創生との関係もあるんですが、教育長においては学校の統廃合をしないということをいきなり本会議で言われましてびっくりしたんですが、今後の公共施設のあり方、指針、整備の基本的な指標といいますか、そういったものはおつくりになる予定はございませんか。

総務部参与（渡邊聡司君） これまで各種別ごとに管理計画を策定したものがございます。例えば公営住宅のストック管理計画あるいは橋梁であったり、そういったものは個々事業ごとに整備しているものがございます。しかしながら、全ての事業にそういったことが義務づけられているわけでもございませんし、本市におきましても総合的にそういった計画をつくっている経過というのはございません。

そういった中で、国の方でも全般的な将来的な視点に立った管理計画を立てる必要があるということの中で、本市におきましても27年度、28年度の2年間でそういった総合的な計画を立てていこうという方向でございます。

委員（三輪順治君） この基金を積み立てた後の、補正後の予定基金残高はお幾らでしょう。幾らになりますでしょうか。

総務部参与（渡邊聡司君） 本年3月31日現在で30億4,900万円の基金残高がございます。これに1億5,000万円積み立てをするということになりますので、31億9,900万円。また、利子が若干加算されるということでございます。

委員（三輪順治君） 終わります。

〈なし〉

〈第2条 債務負担行為補正〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（藤原清和君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

〈所管事務調査事項について〉

委員長（藤原清和君） 次に、所管事務調査事項についてお諮りします。

本委員会の所管事務調査事項はお手元に配付のとおり決定いたしたいと思います。

〈異議なし〉

〈閉会中の継続調査の申し出について〉

委員長（藤原清和君） 次に、閉会中の継続調査の申し出についてお諮りいたします。

先ほど決定いたしました所管事務調査については、閉会中も継続して調査を行えるよう閉会中の継続調査申し出を議長に提出したいと思います。

〈異議なし〉

委員長（藤原清和君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いいたします。

副市長（三宅生一君） 終わりに当たりまして、一言お礼を申し上げたいと思います。

委員の皆様方には、終始熱心に議論をいただきました。なおかつ適切なご決定を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げたいと思います。

今後とも皆様方のご意見あるいはご提言を踏まえながら、確かな行政を推進していきたいというふうに思っております。

本日はどうもありがとうございました。

〈議長あいさつ〉

委員長（藤原清和君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。皆さん、大変ご苦労さまでございました。